

けものフレンズ TRPG ようこそサイフィクパークへ
「プロジェクトジャパリパーク」 シナリオ

豊穡大地の恵み

“Sustenance from the Fertile Earth”

中米にあるとある中堅国「メヒクトリ」。急峻な山地に囲まれ、隣接する大国に近い北部に経済活動の多くが集中したこの国には、途上国として貧しい中にもさらに厳しい所得格差があります。

中でも、満足に教育や医療を受けられていないのが、高原に暮らす「ネイティブインディジェナス」、数十万人に及ぶネイティブ・アメリカンたちです。

数十もの部族と言語に分かれ、テレビや携帯電話といった文明の利器を受容しながらも千年以上前から続く伝統的な生活をそれぞれ続けている彼らは、農業に不向きな土地で大きな産業もなく、貧困にあえいでいます。

シャーマンを中心とした土着信仰を維持して、今や話す人も少なくなった先祖伝来言葉や文化を守りながらも、農閑期にはわずかな賃金のために出稼ぎ労働者として都市に出て働き、そこでは差別の対象にもなっています。

そんな先住民の村の一つ、「サユリタ村」。狩猟採集を主として暮らし、ビーズを使った美しい芸術品を作る彼らは、サユリタ山の麓の高地に居を構え、貧しいながらもゆっくりとした暮らしを送っていました。

そうして先日、この山が噴火。前兆はあったため避難は間に合ったものの、村に色々な影響が現れました。

1つ目に、農作物に被害が出ました。2つ目に、噴火発生した地層の変動により、山麓に上質な石油資源が埋蔵されていることが判明してしまいます。

これにいち早く目をつけた石油メジャー「RDS」は、大金をはたいて政府から採掘調査権を獲得。村の周りに、スーツを着た白人やエンジニアたちが出沒するようになりました。

それから3つ目、噴火の直後、地面の周りにキラキラと光る不思議な粒子が見られるようになりました。子どもたちは不思議がって粒子を追いかけていたりしていますが、大人たちは不安がって、長老に相談したりしています。

やがて、ある木の実拾いの少女が、村の近くの森で2人の「フレンズ」を見つけます。大きな角を生やした「ミュールジカ」と、翼の生えた「イヌワシ」。光る粒子とは、ジャパリパークでたくさん見られる「サンドスター」だったのです！

すぐに村の人達と仲良くなった2人のフレンズたちは、たくさん木の実などを食べながら、平和に暮らしていました。そこに、遠くジャパリパークから来訪者が現れました。皆さんPCたちです。

パークの外でのフレンズの発見。ジャパリパークは沸き立ちましたが、現地から届く映像資料から、大きな懸念が生まれました。「パークと比べてサンドスターがあまりに少ない。フレンズ化を維持できないのではないか？」

幸いパークには、ジャパリまんじゅうをはじめとして、フレンズたちが外で活動できるようにするサンドスター補給装備があります。これを供与すれば多少はフレンズ化解除を遅らせることができるかもしれませんが、なにぶん地球の反対側、毎日供給するとなると輸送費がバカになりません。

2人のフレンズがフレンズであり続けるためには、パークに来てもらわなければならない、それが科学者たちが出した結論でした。

ところが、ミュールジカとイヌワシは、パークからの誘いを断り、村の住民のもとに残ると言ってきました。というのも、折り悪くRDSが競り合いの末サユリタ山の石油採掘権を獲得し、政府にかけあって現地住民の強制退去命令を突き付けてきたのです。2人のフレンズは村を守るため、フレンズでいられる間は、いやその後も、村に残ると決めたのです。

事態を重く見たパーク経営層は、フレンズやパークガイドからなるチームを派遣し、事態の収拾に努めることとしました。

2人のフレンズを含む現地住民の目的は、

「ミュールジカとイヌワシができる限り村で暮らせるようにすること」

「サユリタ村の強制退去を防ぐこと」

「貧困から脱出するための資金を得ること」

RDSの目的は、

「石油採掘を開始すること」

「精製所やパイプラインの建設のため、麓の土地を確保すること」

そして皆さんの目的は、

「ミュールジカとイヌワシがフレンズのままパークで生きられるようにすること」

「サユリタ村近辺の自然環境を守ること」

フレンズと石油利権をめぐる利害と思惑が錯綜する中、皆さんはフレンズとかの地の自然を守り抜けるでしょうか。